

大元大明研究会・

「グローバル化社会における多元文化学の構築」

共催

(早稲田大学総合人文科学研究センター研究部門)

公開研究報告会

2022.3/10 (木) 13:00~

於Zoom オンラインミーティング

報告：

「オスマン帝国の「総志」/「方志」？：

「国家年鑑」/「州年鑑」の構成と内容」

(大河原知樹：東北大学大学院国際文化研究科 教授)

コメント：小二田章（早稲田大学文学学術院 任期付講師）

※終了後、オンライン懇親会を予定しております。報告会参加希望の方は下記幹事までご連絡ください。会議のリンクをお送りします。

連絡・問合せ：小二田章（幹事）

a.konita805@aoni.waseda.jp



※本会は、2021年度東方学会「若手研究者の研究会等支援事業」の助成を受けています。

【スケジュール】

13:00～ 開会・幹事あいさつ

13:10～ 講演

14:10～ コメント・質疑応答

15:10～ （閉会予定）

「大元大明研究会」とは：

元～明初期の中国全土において、各地域の史料制作が低調になり、また史料の残存が極めて少なくなることが、近年注目されている。この現象の社会的背景を探る手掛かりとして、その時期を挟む二つの「一統志」、『大元一統志』と『大明一統志』の記載を比較し、併せて関連の記載を検討することを目的に、2014年度4月に本研究会は結成された。該時期に関心を持つ専門研究者によって構成され、一季に一度程度、担当者による発表を行っている。